

(一社) 日本原子力学会 標準委員会 原子燃料サイクル専門部会
第 46 回 LLW埋設後管理分科会 議事録

1. 日時 2023 年 10 月 18 日 (水) 13:30~14:40
2. 場所 Webex による WEB 会議
3. 出席者 (順不同, 敬称略)
(出席委員) 河西 (主査), 山本 (副主査), 関口 (幹事), 千々松, 大石, 小峯, 高崎, 辻家, 長峰, 三木, 徳永(14:15 まで), 仲田 (12 名)
(代理出席委員) 山岡 (梅原代理), 山田 (後藤代理) (2 名)
(出席常時参加者) 大畑 (1 名)
(欠席委員) 宮脇, 鈴木, 久田, 中島 (4 名)
(欠席常時参加者) 斎藤 (1 名)
(オブザーバー) 志村 (1 名)
4. 配布資料
F14SC46-0 議事次第
F14SC46-1 人事について
F14SC46-2 第 44 回 LLW 埋設後管理分科会議事録(案)
F14SC46-3 用語辞典への掲載項目の確認依頼
F14SC46-4 用語辞典への用語の登録要否の検討
F14SC46-5 2024 年度版標準策定 5 ヶ年計画等の作成について
F14SC46-6 今後のスケジュール
F14SC46 参考 1 L2L3 埋設後管理及び L1 施設検査標準の取扱について
5. 議事及び確認事項
 - (1)出席者/資料確認
関口幹事より, 委員総数 18 名中代理を含め 14 名の出席があり, 分科会の成立要件を満たしている旨の報告があった。続いて配布資料の確認が行われた。
 - (2)人事について
関口幹事より, 資料- F14SC46-1 を用いて, 人事の説明があった。委員人事 (選任: 志村) は, 承認された。また, 委員の退任 (山本 (修) 委員) が報告された。
 - (3)前回議事録の確認
関口幹事より, 資料- F14SC46-2 を用いて, 前回 (第 45 回) 議事録(案)の確認が行われ, コメントは無く正式議事録とすることとなった。

(4) 用語辞典への用語の登録要否の検討

関口幹事より資料- F14SC46-3 及び F14SC46-4 を用いて用語辞典への掲載項目の確認依頼及び用語の登録要否検討について説明があり、以下の質疑が行われた。

- ・ 専門部会へは、この資料をもって用語辞典と差異があることを提案するということがよいか。また、安全評価標準と施設検査標準と連携しているということによいか。
(河西主査)
⇒用語の定義については安全評価標準及び施設検査標準の2標準とは用語の本文の記載は整合を図っていて、標準によって使い方が一部異なるものは注釈の記載を標準に応じた記載としている。専門部会へは、この資料をもって用語辞典と差異があることを示し、必要があれば用語辞典を標準の記載に置き換えることを検討してもらう。(関口幹事)
- ・ 3.4.7 と 3.4.8 に脱字がある(“規定してい”⇒“規定している”)。(河西主査)
⇒拝承。(関口幹事)
- ・ 標準ではこれまでは“移行抑制”を用いていて、“移動抑制”に修正されているが、以前までの表現の“移行抑制”も載っていないということによいか。(千々松委員)
⇒そのとおり。(関口幹事)
- ・ 用語辞典に載っていないものを14個抽出しているが、これを全て用語辞典へ載せて欲しいということでは無く、差異を示しているのみということか。(河西主査)
⇒14個を全て載せるということでは無く、あくまで差異を示して、その理由を示した資料にしているもの。載せる載せないの判断は用語辞典作成の関係者で検討いただくことを想定している。(関口幹事)
- ・ 2019版の用語辞典を埋設後管理標準本文では参照しているが、それとの比較では無く2023版の用語辞典との比較としているが、それによって何か問題は生じていないか。(山本副主査)
⇒埋設関係の標準は2016に改正されて、その後は変更されたものが無いので、2019版と2023版の用語辞典で埋設関係の標準に関係する用語は変更が無いと考えている。(関口幹事)
- ・ この資料は、必要に応じて他の標準のフォーマットとも調整しながら進めてもらいたい。(河西主査)

(5) 2024年度版標準策定5ヶ年計画等の作成について

関口幹事より資料- F14SC46-5 及び F14SC46 参考1 を用いて、L2L3 埋設後管理標準の取扱及び標準策定5か年計画について説明があり、以下の質疑が行われた。

- ・ 5か年計画の資料で、標準の名称に誤記があり、「施工」が「施行」になっているので修正いただきたい。(千々松委員)
⇒拝承。(関口幹事)
- ・ JAEA で L2L3 の計画があると聞いたが、埋設後管理標準について当面改定しないという方針で良いか。(関口幹事)
⇒JAEA でもまだ具体的な時期も見通せず、新たな知見が得られるような内容が無いので、当面は改定しないという方針で構わないと考えている。(仲田委員)
⇒研究施設の埋設施設でも、この標準のような形で知見がまとめられているのは有益ということによいか。(河西主査)
⇒JAEA としても有益だと考えている。若い方へも知見を引継ぐことを考えても、こ

- ういった知見がまとまっていることは意義があるものと考えている。(仲田委員)
- ・誤記がもう一点あり，“やび”を“及び”に修正が必要。(山本副主査)
⇒拝承。(関口幹事)
 - ・5か年計画について気が付いた点など追加であれば後日ご連絡いただきたい。また、本日の議論内容も含めて、学会事務局へ5か年計画の回答をお願いしたい。(河西主査)

(6)今後のスケジュールについて

関口幹事より資料-F14SC46-6を用いて今後のスケジュールについて説明があり、以下の質疑が行われた。

- ・標準の発行は、年内には対応可能という理解で良いか。(河西主査)
⇒手続きとしては、印刷するよう事務局へ連絡すればすぐに印刷できる。11月には図書として発行できる。(関口幹事)
⇒専門部会などに確認する必要もなく進められるということで良いか。(河西主査)
⇒既に承認済みで、用語の統一の関係で修正が無いかを確認していたため手続きを待っていたもの。(関口幹事)
- ・標準一式は既に確認されていて、今回は確認不要ということで良いか。(河西主査)
⇒9月の標準委員会までに変更箇所は説明済で、以降は変更無いので共有していない。(関口幹事)
⇒7月の分科会後の9月標準委員会前までに、体裁を微修正している。(千々松委員)
⇒体裁の修正等も完了した最新の標準一式を、委員へ共有してもらいたい。(河西主査)
⇒拝承。(関口幹事)
- ・印刷にもう進めるということか。(千々松委員)
⇒他の標準の状況を見ながら、また事務局とも確認をしながら進めてもらいたい。(河西主査)
⇒安全評価標準と施設検査標準はどのような状況か。(千々松委員)
⇒安全評価標準は修正後の専門部会委員へのメール審議が本日完了して、印刷へ移行できる状況と聞いている。施設検査標準は、23日まで専門部会委員へのメール審議を実施中の状況。(関口幹事)
⇒施設検査標準が印刷準備できるまで待つということか。(千々松委員)
⇒そこまでは必要無いのでは。(河西主査)
⇒どのタイミングで誰が印刷OKの判断をするのか。(千々松委員)
⇒分科会としては、この場で異論も無いので印刷に進んでよいものとする。実際には、安全評価標準の状況などを見ながら進めてもらいたい。(河西主査)

以上